

# 病害虫防除技術情報第9号

平成 29 年 8 月 24 日

三重県病害虫防除所

## クビアカツヤカミキリが周辺府県で発生していますので 侵入を警戒してください！

1. 対象作物           ウメ、カキ、モモ、スモモ、サクラ等

2. 対象病害虫名       クビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*)

### 3. 全国の発生状況

栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、愛知県、大阪府、徳島県でクビアカツヤカミキリの発生が確認されています(平成 29 年 8 月 23 日時点)。三重県内での発生は確認していませんが、周辺府県ではウメやモモ、サクラで本種の幼虫による加害が発生しており、県内でも発生する可能性がありますので十分に侵入を警戒して下さい。

### 4. 生態と被害状況

#### (1) 形態

・成虫の体長は約 2.5～4cm。全体的に光沢のある黒色で、胸部(首部)が赤い(海外では黒い個体も確認されています)。

#### (2) 生態と被害の特徴

・幼虫が生木の内部を加害し、樹の中で2～3年かけて蛹となり6月中旬から8月上旬頃に成虫となり樹木の外に出ます。ひどい場合は樹木が枯死に至ります。

・雌成虫は交尾後、幹や主枝の樹皮の割れ目に産卵します。

・幼虫は樹木を加害する際に赤褐色でひき肉状のフラス(糞と木くずの混ざったもの)を排出します。

#### (3) 寄主作物

ウメ、カキ、モモ、サクラ、オリーブ、ハコヤナギ、セイヨウスモモ、コナラ、ヤナギ等で確認されています。

### 5. 防除対策

(1) 成虫を見つけた場合はその場で捕殺します。

(2) 幼虫の食入孔を見つけた場合は針金で刺殺するとともに、分散防止・産卵予防のため幹に網目 4mm 以下の防鳥ネットを巻きつけます。

(3) 登録農薬を用いて防除します。

表1 クビアカツヤカミキリに登録のある薬剤例(平成 29 年 8 月 24 日時点)

農薬の種類	作物名	適用病害虫名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンプロパトリンを含む農薬の総使用回数
フェンプロパトリン ンエアゾル	果樹類※	かきムシ類	収穫前日まで	2回以内	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	2回以内
	うめ かき					5回以内(噴射は2回以内、散布は3回以内)
	もも					7回以内(噴射は2回以内、散布は5回以内)
	さくら	クビアカツヤカミキリ	—	6回以内	6回以内	

※かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちじく、(種子)、くり、ペカン、アーモンド、くるみ、食用つばき(種子)を除く。

#### 6. 発見した場合の連絡先

三重県病害虫防除所(電話:0598-42-6365) までご連絡ください。



ひき肉状のフラス(写真提供 徳島県)



雄成虫(写真提供 徳島県)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。